

三十人様限定の
特別サロン

新内志賀

新内研進派三代目家元八代目新内志賀 しんないしが

新内の楽しみ2

〜愛と祈り、和楽器が結ぶ物語

【演目】新作新内浄瑠璃「茨木のマリア」 いばらきのまりあ

新内浄瑠璃 「壺阪縁観音山之段」 つばさかゆかりかんのん やまのだん

【出演】新内志賀 三味線と語り

新内志賀桜 三味線（本手と低音）

新内志賀日向 三味線（上調子）

ゲスト

佐野健二 リュート

平成30年

3月18日（日）午後2時開演

茨木クリエイトセンター・304号室



■主催：公益財団法人茨木市文化振興財団

■後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

人の生の悲哀の中から生まれた新内

江戸時代、元禄も終わりの頃、京都に一中節（いっちゅうぶし）という音曲が誕生しました。その後一中節の演奏家たちは江戸に進出し、その門弟から生まれた豊後節（ぶんごぶし）は、扇情的な音曲で江戸中の人々を熱狂させました。しかし、後に豊後節は倫理に反した恋愛を助長し、心中事件の横行を招くものとして、江戸の町奉行によって、劇場への出演や自宅での教授まで禁じられることになります。豊後節の門弟たちは生き残るために独立、分派し、常磐津、清元、新内などを創始、それぞれに発展を遂げて今日に至っています。新内は、他の豊後系浄瑠璃が歌舞伎とともに発展したのに反して、初期には歌舞伎にも用いられていましたが、後に歌舞伎から離れ、吉原などの花街を中心に街頭や座敷での演奏を行うようになりました。太夫は弾き語りを行い、上調子（うわちょうし）を弾く三味線弾きと二人で「新内流し」といわれる曲を弾き歩き、客に呼ばれると座敷に上がり演奏しました。本手（ほんで）と上調子という二挺の三味線を用いて、主旋律と高音の旋律が、艶やかに絡み合い演奏されることも新内の大きな特徴です。新内は、座敷や街頭にあった人の生の悲哀の中から生まれ、発展してきました。それは音楽でありながら、人間の心の機微を描く文学として、人の生き様を露にする演劇として、今日まで歌い継がれてきたのです。

「茨木のマリア」新作初演

茨木市北部の千提寺（せんたいじ）、下音羽（しもおとわ）地区は、かつてキリシタン大名として知られた高山右近の領地でした。この地の一部のキリシタンたちは禁教令の後にも密かに信仰を守り、信仰の象徴として絵画や道具を時代を超えて大切にしてきました。大正時代になって、ザビエル像などキリシタン遺物が数多く発見され、この地は「隠れキリシタンの里」として名を馳せるようになりました。今回、代表的な遺物のひとつである「マリア十五玄義図」に触発され、長く温めてきたイメージを新作新内作品「茨木のマリア」として本公演のために書き下ろしていただきます。ヨーロッパの古楽器リュートとの共演も楽しみです。ご期待ください。

「壺阪縁観音 山之段」

ご存知「三つ違いの兄さんと〜」の壺阪観音のお話。盲目の三味線弾き沢市と妻お里、お互いを思い合うあまりに起こってしまう悲劇、そして壺阪寺の本尊である十一面観音の霊験による救い。つましい生活の中にも細やかな情の通じ合いが心引かれる物語です。

マリア様と観音様——無私の愛と祈りに満ちた新内語り二題、世界の安寧と心の平安を願っておくりします。

新内志賀 しんない しが

京都市生まれ。幼少期より江戸浄瑠璃新内節を研進派初代家元・新内志賀大掾及び新派家元・富士松菊三郎に師事。小唄を里園派宗家・里園志寿栄及び里園志寿華に師事。2012年研進派家元、並びに新内志賀の襲名を果たし、現在は一門の指導・育成に献身している。本名の重森三果名義では、さまざまな文学をもとに脚色した作品や自ら書き下ろした楽曲を、新しい試みをもって精力的に発表している。また数多くの映画・テレビ等において邦楽指導、演奏出演するなど多岐にわたって活動をしている。2014年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞受賞。



佐野健二 さの けんじ リュート

英国・ギルドホール演劇音楽院ではギターと古楽全般を学び、首席にて卒業する。内外の演奏活動に対し、「ジョン・クリフォード・ペティカン音楽賞」「ロンドン芸術協会選出新人音楽家」「大阪文化祭奨励賞」「神戸灘ライオンズクラブ音楽賞」「音楽クリティッククラブ新人賞」「大阪文化祭本賞（2回）」等を受賞する。2007年、リュート音楽に特化したEMCluteRecordsレーベルを設立、現在までに発売されたCDは専門音楽誌において優秀録音盤、特選盤、推薦盤等として評価されている。アーリーミュージックカンパニー主宰、相愛大学非常勤講師。

新内志賀桜 しんない しがおう

4歳より新内志賀に師事。2017年、東京藝術大学（長唄三味線専攻）卒業。現在、京都市立芸術大学（日本伝統音楽研究専攻）修士課程在学中。長唄を稀音家温子、東音新井康子に師事。



新内志賀日向 しんない しがひな

13歳より新内志賀に師事。映画「沈黙」、テレビ「必殺仕事人」「大奥」「鬼平犯科帳」等の映像作品の三味線演奏に参加。舞台では国立文楽劇場、京都芸術センター、また京都を中心としたイベント等で演奏。

平成 30(2018)年 3 月 18 日[日]午後 2 時開演（1時45分開場）

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)3 階・304 号室 ※定員30人 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

[全席自由] 1,500円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き（この取り扱いは財団のみです）*就学前のお子様はご遠慮ください。

1月31日[水] 9:00予約開始

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。初日の電話予約は1回につき6枚まで。

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055（9:00～17:00）/インターネットチケット www.ibabun.jp

予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売（残席がある場合）は発売翌日からです。

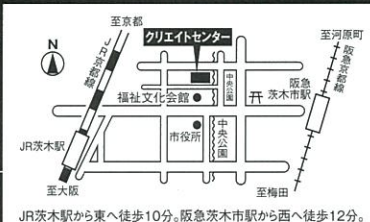
◎クリエイトセンター1階チケットカウンター（9:00～17:00） ◎福祉文化会館3階チケットカウンター（9:00～17:00）

*インターネット予約については、コンビニ（セブンイレブン、サークルK、サンクス）で精算・受取いただけます。（要手数料108円）

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送手数料400円〉を郵便局備え付けの「払込取扱票」で

お支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

〈払込口座〉00970-7-190576/加入者名：茨木市文化振興財団



■主催：公益財団法人茨木市文化振興財団 ■後援：茨木商工会議所/茨木市観光協会

新内の楽しみ2 愛と祈り、和楽器が結ぶ物語